

車種別接続情報

管理 No. H-0100 (1/3)

メーカー	ホンダ	車体型式	JF1~2
車種	N BOX プラス	年式	H25.12~H29.8
専用ハーネス	H-121 (VE-E030H、VE-M031Hのみ取付可能です 必ず取付する機種をご確認ください)		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2~3分待ってから作業を行ってください

- 車体番号の上 3 桁が次の番号で始まる車両が取り付け可能です。 ・320~399 ・420~499 ・840~899
- 専用機種 (VE-E030H、VE-M031H) のみ取付可能です。他の機種は取付できません。
- P・ポジション自動検出機能は使用できません。
ブレーキ検出線(茶)をフットブレーキスイッチ配線に接続してから、ブレーキペダル操作でのP・ポジション自動検出の設定を行ってください。
- エンジンスターターでのエンジン始動時は、アクセサリ (ACC) 電源は出力されません。
- エンジンスターターのドアロック機能を使用する場合、別売品は必要ありません。
また、別売品のハザード制御 (A-18SF) を取付けること無く、エンジンスターターでの始動時、ドアロック/アンロック時にハザードランプを点滅させます
エンジンスターターのリモコン操作で、ドアロックを行うとハザードランプが 1 回点滅、アンロックを行うと 2 回点滅します。
エンジンスターターでの始動検出が確認されるとハザードランプが 3 回点滅します
- ターボタイマー機能はございません。

各部の外し方

取付はヒューズボックス部となります。バッテリーを接続したままカプラの抜き差しを行うと、ECU 故障の原因となる恐れがあるため、必ずバッテリーを外し、2~3分放置してから作業を行ってください。

なお、ステアリングコラムカバーを外す作業で、ステアリングを回す事が必要となります。

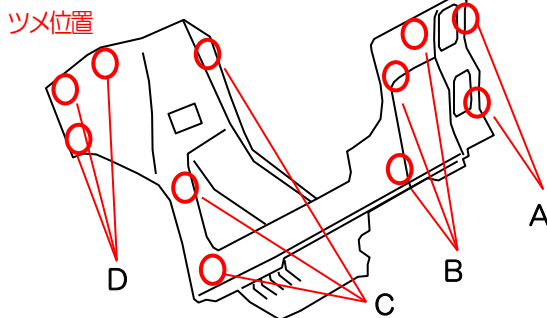
コラムカバーを固定しているビスを外してから、バッテリーを外し、ヒューズボックス部の作業を行ってください。

H-121 及びエンジンスターター付属のセンサーハーネスは、ヒューズボックス裏へ取付するため、下記の手順でヒューズボックスを手前に引き出し作業を行います。

1. ステアリングコラムカバー上部を外す
2. ステアリングを回しコラムカバー下部を固定している ビス 2 箇所を外す
・コラムカバー下部は下記ロアカバーを外した後に取り外します
3. バッテリーを外す
4. ロアカバーを外す
・ロアカバーの A から順に手前に引っ張りフックを外します
5. ステアリングコラムカバー下部を取り外す
6. ヒューズボックスを外す (手前に引き出す)
・ヒューズボックスの表側の各カプラを外す
・ボルト固定している 2 箇所と側面のロックを外す (ヒューズボックスは完全に外すわけではありません)
・ヒューズボックスを手前に引き出す (90 度位傾けるような状態で作業ができます)

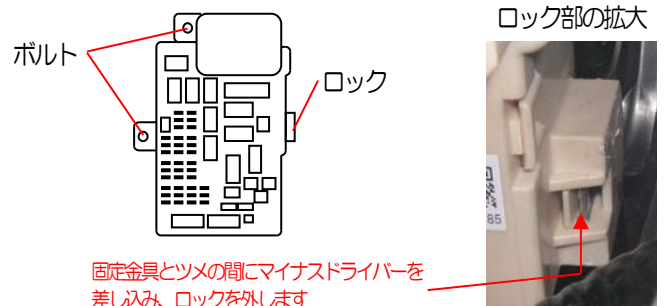


【ロアカバーの外し方】



コラムのロックレバーを解除し、コラムのチルトを最上位の位置にします
ロアカバーを手前に引っ張り、A から順にツメを外していきます
ツメが固いので必要に応じて内張りはがし等をご使用してください

【ヒューズボックスの外し方】



側面のロックは、先の長いマイナスドライバーで外すことができます。かなり奥まった場所にあるため、柄先が 15 cm 以上のマイナスドライバーを使用すると比較的楽に作業が行えます

ボルトとロックを外すと、ヒューズボックスを手前に引き出せます。

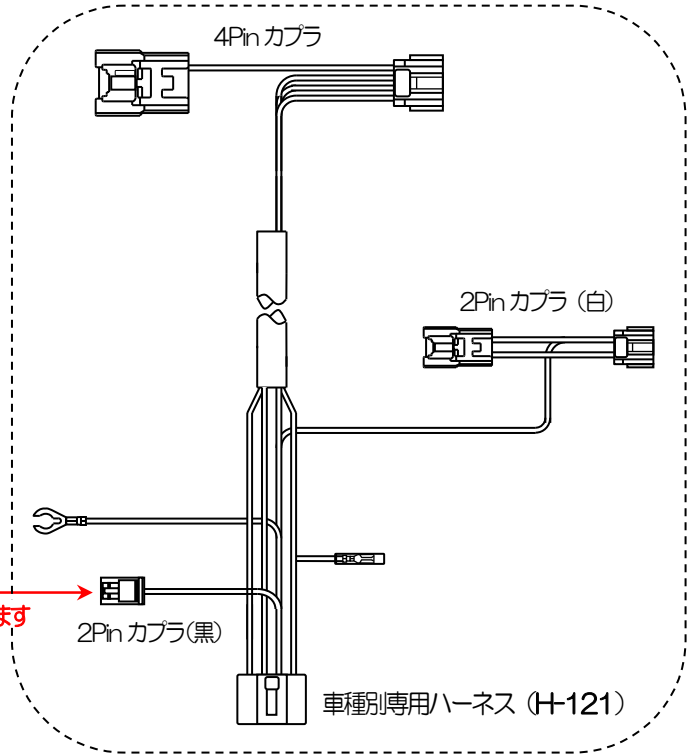
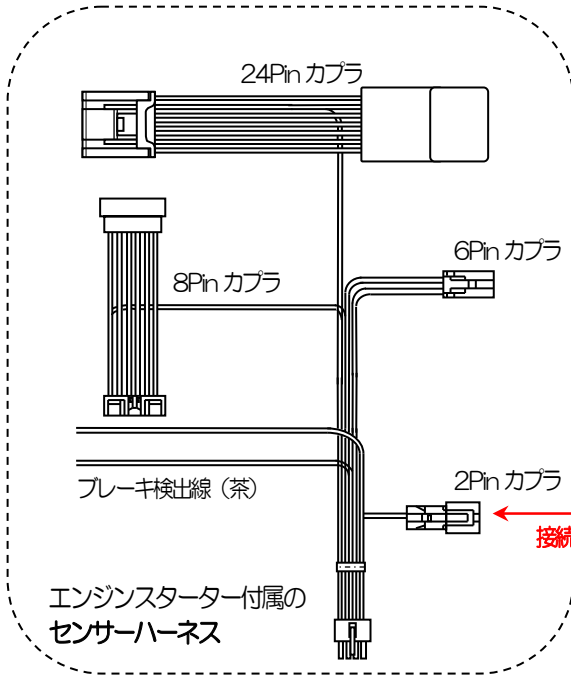
車種別接続情報

管理 No. H-0100 (2/3)

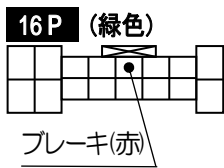
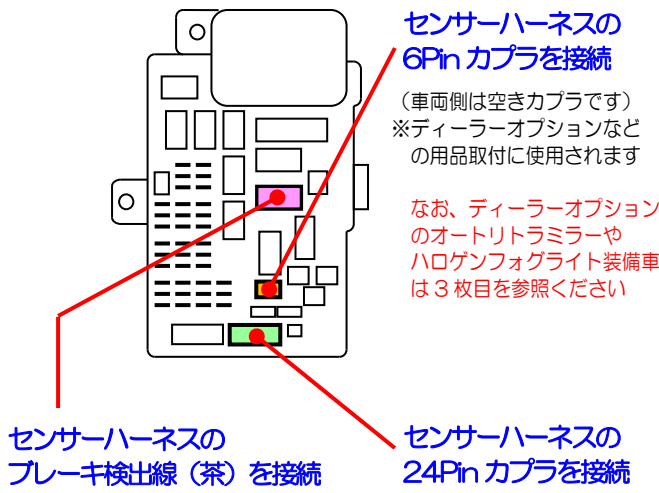
メーカー	ホンダ	車体型式	JF1~2
車種	N BOX プラス	年式	H25.12~H29.8
専用ハーネス	H-121 (VE-E030H、VE-M031Hのみ取付可能です 必ず取付する機種をご確認ください)		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2~3分待ってから作業を行ってください

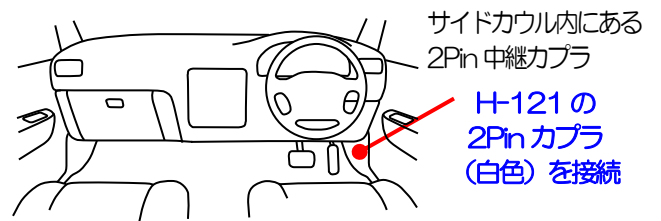
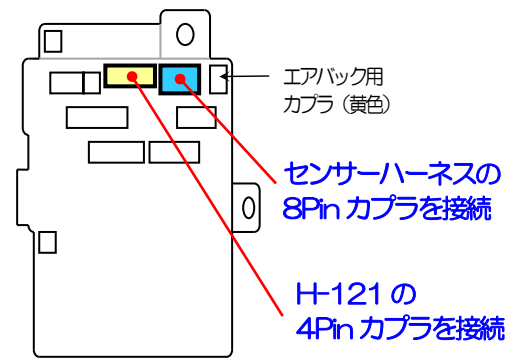
ハーネスの接続



【ヒューズBOX 表側】



【ヒューズBOX 裏側】



メーカー	ホンダ	車体型式	JF1~2
車種	N BOX プラス	年式	H25.12~H29.8
専用ハーネス	H-121 (VE-E030H, VE-M031Hのみ取付可能です 必ず取付する機種をご確認ください)		

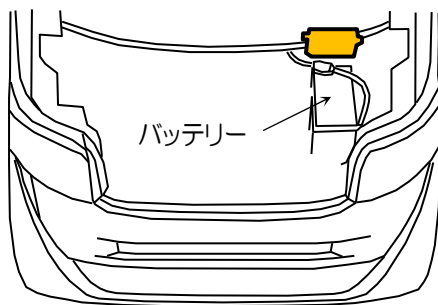
車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2~3分待ってから作業を行ってください

L端子の接続について

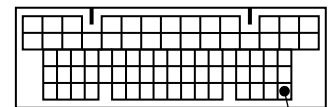
接続必須ではありませんが、エンジンスターターの始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してもエンジンが掛って止まる場合、L端子の接続を行ってください

エンジンルーム内 バッテリー奥にあるエンジンコントロールECU

エンジンコントロールECU



80P (黒色)

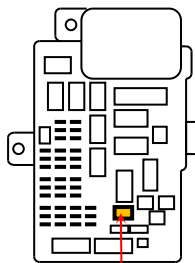


L端子(薄茶)

ディーラーオプション (オートリトラミラー、ハロゲンフォグライト) 装着車への接続について

(装備のない場合、下記接続(加工)方法は必要ありません。なお、センサーハーネス6Pinカブラの接続は必要になります)

ディーラーオプション (オートリトラミラー、ハロゲンフォグライト) が装着されている場合、下記の接続をしてください。

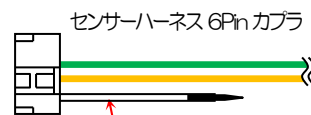


6Pinカブラ

1. 既に接続されている、ディーラーオプション側の6Pinカブラを外します
2. エンジンスターターのセンサーハーネス(6Pinカブラ)を接続します。
3. ディーラーオプション側のカブラ(6Pin)から出ている配線(1本のみ)をカットし、センサーハーネス(6Pin)から出ている白線(約5センチほどの絶縁処理されている配線)に、カットした配線を接続します



カットする



センサーハーネス6Pinカブラ

この配線に、カットした配線を接続します

全ての接続が終了したら、バッテリーを接続しP・ポジション検出を行います。

Pポジション検出の設定手順

(Pポジション検出の設定を行うと自動的にイビDの登録もされます)

P・ポジション検出の設定

- 1) スタータユニットの電源投入後、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。
- 2) シフトレバーがパーキング(P)・ポジションに入っていることを確認します。
- 3) スマートキーを携帯し、フットブレーキを踏まずにエンジン スタート/ストップスイッチを押してIGをONにします。(プッシュスタートスイッチを押すごとに、OFF ACC IG OFF・・・の順に切り替わります。)約3秒後にジャンクションユニットから『ピピッ』音が出ます。
- 4) ブレーキペダルを踏み込みます。(ブレーキペダルは踏み込んだままの状態にしてください)ジャンクションユニットから『ピッ』音が出ます。
- 5) ブレーキペダルを離しますジャンクションユニットから『ピロロロロ』音が出ます。
- 6) エンジンスター/ストップスイッチを押して電源をOFFにします。